

2011. 11. 16

今夏の最大使用電力、前年比 21.2%減を達成

日建連は本年4月、「日建連電力対策自主行動計画」を策定・公表するとともに、法人会員145社に対して同計画に基づく電力対策行動計画の策定を依頼しました。各社別電力対策行動計画を基に、今夏の最大使用電力削減目標を前年比20.2%とする「日建連電力対策自主行動計画（実施計画）」を6月に策定し、最大使用電力削減の要請に応えるべく、努力を続けてまいりました。

今般、計画に対する実施結果がまとまり、別添資料のとおり、今夏の東京電力・東北電力管内における最大使用電力は、目標を上回る前年比21.2%の削減を達成いたしました。

常設事業所、施工現場における具体的活動は以下のとおりです。

1. 常設事業所

- ・ 会員各社において計画策定以前から既に取り組みを開始していたが、クーリーブズの徹底、夏季休暇の拡大・分散、サマータイムの導入等更なる削減に向けた活動を徹底
- ・ 東京電力管内：28.1% 東北電力管内：21.3%の削減を達成

2. 施工現場

- ・ 発注者の理解と協力、異なる施工環境等、常設事業所と比較し厳しい制約条件であったが、夏季休暇の拡大・分散、ピーク時を回避するための作業時間の変更、土日・早朝の活用等を実施
- ・ 東京電力管内：19.8% 東北電力管内：22.6%の削減を達成

[担当] 総務部 佐沢、塩澤（電話：03-3553-0701）

日建連電力対策自主行動計画（実施計画）に対する各社実施結果

平成23年11月16日
社団法人日本建設業連合会

去る6月22日、法人会員各社に対して、「日建連電力対策自主行動計画」に基づく電力対策行動計画の策定を依頼した。今般、各社別電力対策行動計画に対する実施結果の取りまとめを行った。

1 実施結果

日建連は、計画期間中における東京電力及び東北電力管内の最大使用電力を、全体として昨年比で平均20%程度削減することを目標とした。

【全社】実施結果提出会員数83社/計画策定会員数98社（実施結果報告提出率84.7%）

	計画策定時		実施結果		
	現場・常設事業所数	目標削減率	実施現場・常設事業所数	削減率	
東京電力管内	現場	4,547（87社）	20.1%	3,945（67社）	19.8%
	常設事業所	674（94社）	22.1%	600（75社）	28.1%
	合計	5,221	20.4%	4,545	20.9%
東北電力管内	現場	829（55社）	19.3%	729（40社）	22.6%
	常設事業所	334（70社）	19.5%	317（52社）	21.3%
	合計	1,163	19.3%	1,046	22.2%
	総計		20.2%	総計	21.2%

2 会員各社の主要な取組みの結果

取組みの 区分	内 容					
	施工現場 (4, 674 箇所)	実施 個所数	実施率	常設事業所 (917 箇所)	実施 個所数	実施率
① 夏季の ピークカ ット対策	1. 夏季休暇の拡大、分散	1, 008	22.3%	1. クールビズの徹底	905	98.8%
	2. 作業時間の変更 (ピーク時の回避)	871	18.6%	2. 夏季休暇の拡大、分散	547	59.7%
	3. 土日・早朝の活用	692	14.8%	3. サマータイムの導入	214	23.3%
② その他 の節電対 策	1. こまめな電源OFF	3, 938	84.3%	1. こまめな電源OFF	903	98.5%
	2. PCの節電	3, 506	75.0%	2. 事務室照度の低減	897	97.8%
	3. 自家用発電機の活用	1, 171	25.1%	3. 空調温度設定の変更	864	94.2%
	【その他】 ◆ 自販機の新規設置中止・稼働時間の制限 ◆ 休日輪番制の実施 等			【その他】 ◆ ノー残業デーの導入、拡大 ◆ ノートPCの夜間充電、日中バッテリー使用 等		

※ ①「夏季のピークカット対策」のうち網掛け部分は、計画策定時には対策として3位以内に入っていなかったもの。
計画策定時は、**施工現場：平日閉所の実施、常設事業所：「夏季休暇」期間の事業所別輪番制**が3位以内であった。

以上